

2018年7月13日 (Ver.1)

大阪大学サイバーメディアセンター
OpenFOAMハンズオンセミナー
「インストール資料」

今野 雅 (Masashi IMANO)

(株式会社OCAEL・東京大学情報基盤センター客員研究員)

1 Windows OSでのインストールと動作確認

1. ParaViewのインストール

- (a) [ParaView-5.5.2-Qt5-Windows-64bit.exe](#)をダウンロードして実行し、インストールする。
- (b) 上記が動作しない場合には、[DownloadのWebページ](#)から、他の近いバージョンをダウンロードして、インストールを行い、起動するか試してみる。

2. MobaXterm Home Editionのインストールおよび初期設定

- (a) [MobaXterm_Portable_v10.8.zip](#)をダウンロードをして解凍する。
- (b) 解凍したフォルダ内のMobaXterm_Personal_10.8.exeを実行する。
- (c) デスクトップに演習用のホームフォルダhome20180727を作成。
- (d) ホームフォルダにShellセッションのファイルが残るように以下の設定を行う。
Settingsアイコン→Generalタブ→Persistent home folderに作成したホームフォルダを設定。

3. 端末とXアプリケーションの起動テスト

- (a) Sessionアイコン→Shell(Local shell session)→OK.
- (b) Terminalのタブ上でxevを入力→Event testerのウィンドウが出現→ウィンドウを閉じる。

2 Mac OSでのインストールと動作確認

1. ParaViewのインストール

- (a) [ParaView-5.5.2-Qt5-MPI-OSX10.8-64bit.pkg](#)をダウンロードして実行し、インストールする。
- (b) 上記が動作しない場合には、[DownloadのWebページ](#)から、他の近いバージョンをダウンロードして、インストールを行い、起動するか試してみる。

2. 端末とXアプリケーションの起動テスト

- (a) アプリケーション/ユーティリティ内のターミナルを起動。
- (b) ターミナルでxevを入力→Event testerのウィンドウが出現→ウィンドウを閉じる。
- (c) xev: command not foundなどのエラーが出る場合には、次のXQuartzをインストールして再度テストする。

3. XQuartzのインストール

- (a) [XQuartz-2.7.11.dmg](#)をダウンロードして、インストールする。